

# 市連自治会だより

第 12 号  
発行／平成29年 8月 1日  
高岡市連合自治会  
(高岡市共創まちづくり課内)  
高岡市広小路 7-50  
TEL 20-1326



たかまちまつり高岡獅子舞大競演会

日々暑さ厳しき折、市民の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は自治会活動に深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、御存知のとおり、昨年十一月に高岡御車山祭を含む全国三十三の屋台・祭り行事がユネスコの無形文化遺産に登録され、今年三月には「福岡町つくりもんまつり」が内閣総理大臣賞を受賞するなど、本市の地域力が全国的に認知されたことから、市民の活力がますます高まる一年となりました。これを機に、皆様と共に「歴史都市・高岡」ならではの地域の魅力を発信し、おもてなしの心を養っていききたいと考えております。

また、北陸新幹線開業から二年余りが経過しました。市連合自治会としては、昨年九月の新高岡駅への「かがやき」停車実現に向けた一斉乗車の取り組みの際、各校下・地区連合自治会はもとより単位自治会の皆様にとくさんのご支援、ご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。残念ながら、



## 会長あつちり

高岡市連合自治会  
会長 杉江 幸男

未だ定期便はなされていませんが、今年度を正念場ととらえ、新高岡駅の利用に取り組んでまいります。

明るい話題や様々な取組みの一方で、少子高齢化、生活様式・価値観の多様化の進展により、地域のつながりの希薄化が進んでいます。このような社会情勢の中、個人や行政だけでは解決することが難しい課題が増えてまいりました。

市連合自治会としましては、自治会活動の果たす役割がますます重要になっている認識のもと、地域の諸問題の解決にこれまで以上に果敢に取り組みます。そして、市民本位の立場から行政・議会に対し、提言や要望を積極的に進言し、「市民創造都市・高岡」実現に向け、協力してまいりたいと考えています。また、富山県西部地域の広域的な連携を進め、富山県西部全域における持続的発展を目指します。今後とも、市民の皆様の格別のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 熊本地震被災地への 義援金のお礼

高岡市連合自治会 高木 達郎

昨年四月に発生しました熊本地震では、多くの家屋が倒壊し、尊い人命が奪われるなど、熊本県と大分県に甚大な被害がありました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被害を受けられました皆様には心よりお見舞い申し上げます。地震発生後から、高岡市連合自治会では、被災地の復旧・復興の助けとなるよう、住民の皆様が募金を呼びかけましたところ、多額の善意が寄せられました。本紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

この支援活動に賛同いただいた皆さまからの義援金につきましては、昨年九月に、預託先を通じて被災した熊本・大分両県に送られております。預託先及び金額につきましては、次のとおり、ご報告いたします。

義援金募金総額  
**六百八十五万二千五百四十四円**  
預託先・日本赤十字社富山県支部  
三百三十五万二千五百四十四円  
・高岡市共同募金委員会  
三百五十万円

ご協力ありがとうございました。

## 役員・会員の紹介

会長	杉江 幸男 (東五位)	会員	下山 実 (川原)
副会長 (総務)	大坂 昭輔 (牧野)	会員	山口 征市 (三上)
副会長	若野 富男 (横田)	会員	川西 巖 (能町)
副会長	林 隆三 (福岡)	会員	南林 司郎 (木津)
副会長	浦田 一郎 (佐野)	会員	森田 和夫 (福田)
理事 (会計)	高木 達郎 (野村)	会員	金元 三知雄 (小勢)
理事	和田 徹 (平米)	会員	清水 善正 (立野)
理事	林 正晴 (博労)	会員	細川 俊治 (石堤)
理事	鷲北 弘 (成美)	会員	古市 義雄 (伏木)
理事	杉森 利二 (守山)	会員	増井 俊一 (太田)
理事	吉野 武司 (国吉)	会員	澤合 文雄 (龜岡)
理事	吉国 一雄 (山王)	会員	大木 信作 (是戸)
監事	小栗 久雄 (三塚)	会員	松浦 士朗 (中田)
監事	菊池 喜義 (古府)	会員	出口 勇 (天滝)
監事	川原 豊 (北般若)	会員	割田 貞夫 (西五位)
相談役	川田 正信	会員	山本 光 (五位山)
会員	宇波 真一郎 (定塚)	会員	澤川 岩雄 (赤丸)
★ 会員	米島 義三 (下関)		
★ 会員	藤田 晴久 (西条)		

◎印は新役員  
★印は新会員

## 編集後記

去る六月十三日に、高岡市連合自治会総会が開催されました。会員一同、今年度も引き続き、市勢の発展のために努めて参りたいと考えています。

市内三十六校下(地区)には様々な伝統文化・行事・見所などがあります。今回は、その中から初めて分散開催した新成人の集い(定塚)、登坂選手の金メダル獲得(木津)、福岡町つくりもんまつり(福岡)について、各会長に執筆していただきました。ぜひ一読ください。

結びに、お忙しいところ、貴重な原稿をお寄せいただきました方々に深く感謝申し上げます。

編集委員 浦田 一郎(記)  
鷲北 勝弘  
吉国 一雄  
小栗 久雄

## 栄誉に輝く

■総務大臣表彰  
杉江 幸男 氏(東五位)  
■富山県部門功労表彰  
大坂 昭輔 氏(牧野)  
■市民功労者表彰  
山達 六夫 氏(定塚)  
南林 司郎 氏(木津)  
清水 善正 氏(立野)  
林 隆三 氏(福岡)

## 平成二十九年 定期総会の開催

六月十三日、ホテルニューオータニ高岡において本年度定期総会が開催されました。

総会では、平成二十八年事業報告・収支決算報告、平成二十九年事業計画（案）・収支予算（案）、役員補充が審議され、原案どおり承認されました。

前年度の主な活動内容及び今年度の事業計画は次のとおりです。

### 平成二十八年年度に実施した主な事業

- ・「市連自治会だより」編集委員会（五・六・七月）
- ・総会及び市当局・市議会との懇談会（六月）
- ・「市連自治会だより」の発行（八月）
- ・市当局との懇談会（九月）
- ・県内視察研修（九月）
- ・県連・高岡・射水ブロック会議（九月）
- ・「かがやき」一斉乗車運動（九月）
- ・熊本地震被災地への義援金贈呈（九月）
- ・県外視察研修（十月）
- ・平成二十九年度高岡市に対する要望書提出（十一月）
- ・市当局との新春懇談会（一月）

に多くの市民が感動したことと思います。この金メダル獲得につながった、後援会活動や木津小学校の取組みを紹介します。

オリンピックを翌年に控えた平成二十七年末に「登坂絵莉選手を励ます会」を開催しました。登坂選手のビデオ映像や横断幕の披露など、三百名を超す住民で熱気にあふれた会になりました。

そして、オリンピック直前の平成二十八年六月には母校木津小学校に登坂選手を迎え、全校生徒で「登坂選手ががんばれミニ集会」を開催しました。応援メッセージの寄せ書きを後輩から受け取った登坂選手は「金メダルを持ってみなさんに見せに来ます」と力強く宣言してくれました。

さて、いよいよオリンピック、八月十七日夜から十八日朝方にかけて、高岡市と共催で木津小学校体育館にてパブリックビューイングを開催し、五百名を超す出席者で熱い熱い声援を送りました。登坂選手は、残り十秒で逆転し、女王となり、最後まであきらめないことの大切さを教えてくれました。個人競技では田知本選手と共に、県勢初の金メダルを獲得し、富山県の歴史に名を残してくれました。

九月十六日には、木津小学校へ来校され、生徒一人一人全員に金メダルを触れさせてくれました。生徒たちは「重いなーすごいなー」と感激し、私は、その姿を見てうれしく、ほほえましく感謝の気持ちでいっぱいになりました。

## 平成二十九年年度の主な事業計画

I 高岡市連合自治会は、市勢の発展と住民が安心して暮らしのできる豊かで明るい地域社会づくりに寄与するため、各校下（地区）連合自治会相互の連携の基に、行政及び関係団体と相互協力・協調を図り、本会の目的達成のために次に掲げる事業を行なう。

### II 事業内容

- ①より良い地域社会づくりへの提言等
- ②安全で安心なまちづくりの推進事業
- ③福祉活動及び男女平等・共同参画事業
- ④環境美化・保健衛生事業
- ⑤情報発信事業
- ⑥先進地視察等研修事業

## 高岡市「新成人の集い」 中学校区毎に初めての分散開催

定塚校下連合自治会長 宇波 真一郎

一月八日、高岡市「新成人の集い」が市内十二会場（中学校区毎）に分散して開催され、高陵中学校区は、富山県高岡文化ホールにて一〇二名を対象に開催されました。

地域に近い会場で地元の皆さんに祝い励まされることで、参加する新成人の当事者意識を促すとともに高岡

市や地元への帰属意識や共生意識を醸成する機会にしたいとの考えに基づき、定塚校下は、四十全ての自治会長が式典参加を呼びかけ、定塚校下社会福祉協議会など、平米校下とともに諸団体の支援を得て、新成人代表二名が司会を務め、地域が一体となって進行されました。

高陵校区の新成人を応援すべく、校下国会議員、県議会議員、市議会議員、駅前交番所長、各校下連合自治会長、単位自治会長、高陵中学校の恩師が列席し、第一部の式典は厳かに大人を迎える静かな雰囲気の中で行われました。第二部のアトラクションになると同窓会の雰囲気変わり、思い出のシーンを見ながら、久しぶりに再会する友人や恩師と談笑したり記念撮影をするなど、和気あいあいとした素晴らしい会となりました。晴れやかな二十歳の門出をお互いに喜び合う姿を見ると、これからの「新成人の集い」に地元住民としてお祝いできる喜びを大変ありがたうと感じました。

今回の式典は従来のかたちと異なり、新成人の実行委員会が自ら企画し、地域をあげて「新成人の集いづくり」に協力をする新しい仕組みで取り組まれました。

色鮮やかな振袖や真新しいスーツに身を包まれた新成人の皆さんには浮ついた所もなく、全員で式を楽しもうとしている姿には、爽やかさだけでなく頼もしさを感じますし、これからの地域のリーダーとして大きく育つ

## ふるさとイベント大賞受賞

福岡地区自治会連絡協議会長 林 隆三

今年、三月三日に「福岡町つくりもんまつり」が第二十一回ふるさとイベント大賞（内閣総理大臣賞）を受賞したという喜ばしいニュースがテレビ、新聞等で報道されました。ふるさとイベント大賞とは、全国各地で数多く開催されている地域の活力を生み出すイベントを表彰し、全国に向けて紹介することによって、ふるさとイベントの更なる発展を応援することを目的に設けられた賞です。

今回、日本全国から応募された一四二のイベントの中から、私たちの「福岡町つくりもんまつり」が最高賞の大賞に選出されたことは、誠に感慨深く、喜びに堪えません。

評価されたポイントは、次の三点です。①見立て細工「つくりもん」の制作過程において、幅広い年代の地域住民が一体となって作品を作り上げる点。②野菜や果物などを材料に、時節の話題や風物に見立てた人形や動物などを作成することによって、五穀豊穣に感謝する伝統ある奇祭である点。③開催回数が五十回以上を数え、二日間の期間中に十五万人以上の観客を動員する人気イベントであるといった点が評価されました。

福岡町つくりもんまつりは、秋の収穫を祝い五穀豊穣に感謝する三百有



高陵中学校区会場

てくれることが期待できる素晴らしい新成人達でありました。今後は、校下連合自治会として世代間交流を強め、活力溢れる定塚校下を目指し、「新しい地域社会づくり」の大きな力として育てていかなければならないと考えさせられた式典であったと思います。

## 登坂選手ありがとう そして オリンピック連覇を！

木津校下自治連合会長 南林 司郎

木津校下では、登坂絵莉選手に対する支援の輪を拡げるため、登坂絵莉後援会を平成二十七年八月二十五日に設立いたしました。

昨年のリオ・デ・ジャネイロオリンピックでは登坂選手の金メダル獲得

余年の伝統を持つ奇祭として、地域コミュニティをあげて伝統文化を継承し、毎年約四十の様々な作品を九月二十三日・二十四日の二日間展示しています。作品制作に携わる自治会や各種団体の方々は、一年前から「つくりもん」の構想を練り、祭り開催当日の朝まで夜通しで制作にあたります。まさに住民一人一人が芸術家となるこうした姿は、私たち見るものを魅了します。今年のまつり当日も、皆さまを楽しませる「つくりもん作品」が数多く並ぶことと思われまます。

この名誉ある賞の受賞を契機に、これからの市の観光の一翼を担えるよう、皆様のあたたかいご協力とご支援をいただきながら、祭りのさらなる発展に尽力してまいります。



逆転金メダルの瞬間  
大歓声の木津小学校体育館



28年度つくりもんコンクール優勝作品（大型の部）  
末広蘭陵王